

令和7年10月1日

事業報告

講座名	令和7年度やまぐちキッズスクール 第3回
日時・場所	8月30日(土) YMfg維新セミナーパーク
参加者数	参加者：14組38人(子ども21人、大人17人)

1 概要

本事業は、県内の4歳～小学3年生およびその保護者を対象とする全3回の体験学習事業である。下記を目的とし、8月30日に第3回目を実施した。なお今回は下関短期大学に講師を依頼して行った。

<目的>

生命や自然を大切にする心や好奇心、探究心や創造力を高めるきっかけにするとともに、興味関心の共有・表現を通して、他者を理解し、互いを尊重し合う気持ちを育む。

(1) 10:00～10:30 アイスブレイク(講師:下関短期大学講師 沖村 文子 氏)

初めにチームの力を高めるために、アイスブレイクとして、沖村 文子 氏の指導のもとリクリエーションを行った。全体で手遊びやじゃんけんゲームなどを行った後、グループごとに円になって、自己紹介ゲームやリズム遊びなどを行った。大学生も保護者も交じって、みんなで打ち解けることができた。

(2) 10:30～ 15:00 「みんなで作るとおもしろい!大きな生き物を作ろう!」

初めに講師からスライドで、今日作る「生き物」とはどういうものなのかや、作る時のルールや約束などの説明があった。今回のポイントは、全員のアイデアを何か1つでも入れること、例えば「羽をつける」や「手はペンギン」、「体は龍にする」など、一つの大きな生き物の体の中に全員の出したアイデアを入れることが条件だった。作戦タイムは大学生を中心に行った。

何を作るかが決まったら、それぞれ作る部位の担当を決めて、ダンボールや新聞紙、紙製の筒などの廃材を使って作成を開始した。カッターで切ったり、難しい作業をしたりする時は保護者や講師が補助した。パーツの準備ができたなら絵の具やポスカなどで色を塗っていった。それぞれ自分の担当部分は責任をもって最後まで完成させ、大きな部品など、時間のかかるところは複数で協力して作業することができた。そして最終的にはそれぞれのグループに1つずつ、大人の身長をはるかに超えるような大きな生き物が完成した。

最後にグループごとに生き物の説明や工夫した点などを発表して終了した。

2 写真

